



1dayボランティア2018

10月28日から12月9日にかけて、「1dayボランティア2018」を実施しました。この企画は、「ボランティアに関心はあるけど、一人で始めるのは不安…」「継続できるか心配」といった学生に対して、「1日」お試し体験を通して、ボランティアへのはじめての一步を踏み出してもらうことを目的としています。今年、25名の学生が自分の関心に沿った活動先を6つの分野の中から選び、1日体験のボランティア活動を行いました。活動の事前と事後には、活動と連動した学習を行い、ボランティア活動について学んだり、体験したことを振り返ったりしました。

本企画では、学生コーディネーターが主体的に企画・運営に関わっています。首都大生のボランティアに関するニーズについて考え、話し合ったうえで、活動先の調整をしたり、活動に同行してサポートしたり、事前・事後学習でのファシリテートを担当したりしました。

事前学習



10月28日（日）、91年館多目的ホールにて、「事前学習」を行いました。この「事前学習」では、ボランティアとして活動先に向かう前に、ボランティアについて考え、自身の動機を明確にしたり、目標を立てたりします。

本学の人文学部人間社会学科社会福祉学教室の室田信一先生に講師をご担当いただき、「ボランティアをしようと思った動機」や「今回のプログラムの社会性／公共性」等について考えました。

グループワークの中では、自分が選んだ活動に対する他者の様々な考えや問題意識を知ることにより、自分の中に新たな考えが生まれたり、

自分の考えが深まったりしたようでした。

最後に、「首都東京をどのような街にしたいか」「その中で自分をどのように位置付けたいか」について述べた「ボランティア宣言」を作成し、全員の前で、それぞれ発表しました。

活動

参加者は、6分野・7団体の中から自身の関心に沿って活動先を選び、活動しました。

八王子市立愛宕小学校

子ども分野では、例年通り、大学の近くにある愛宕小学校で活動しました。活動内容は、「授業補助」と「放課後子ども教室」の2種類でした。

「授業補助」として活動した学生は、図工や英語、国語の授業で子どもたちの学習のお手伝いをしました。私は、学級活動の授業で子どもたちの学習のサポートをしました。子どもとしてではなく、一人の大人として小学校にいるのが初めての体験で、児童の個人差や先生の配慮など、小学生の頃の自分とは違ったものを活動を通して感じました。

また、愛宕小学校が大学の近くにあるということもあり、子どもたちは大学に関心があるようでした。同じ地域の大学生と小学生につながりが生まれ、その中で、私たち大学生が身近な大人として少しでも小学生のお手本となる行動ができたらいなと思います。

（学生コーディネーター：齊藤実佳子）

日野市立みなみだいら児童館ぶらなっと

子ども分野は、愛宕小学校に加えて、日野市のみなみだいら児童館ぶらなっとで活動させていただきました。ママクッキングなどの児童館のイベントのサポート活動と児童館内での通常活動の大きく分けて2種類の活動があり、2名の学生がそれぞれの活動に参加しました。

私は通常活動に参加し、児童館で子どもたちの遊びのサポートを行いました。工作やスポーツなどの活動を通して、子どもたちの無尽蔵の体力や豊かな発想力を目の当たりにし、非常に新鮮味を感じました。

学生コーディネーター企画

1dayボランティア 2018

報告

2018/10/28
～12/09

また、児童館は未就学児から高校生まで幅広い世代の子どもたちが利用していました。幅広い子どもたちが活発に交流していて、こうした多世代間での幅広い交流が子どもたちに豊かな価値観を育ませ、彼らを成長させるのだと感じました。（学生コーディネーター：宮崎仁美）

東京八王子ビートルズ



スポーツ分野では、B.LEAGUEに所属するバスケットチーム「八王子ビートルズ」の試合で活動しました。雑壇を並べる設営やチケットもぎり、モップと、大迫力の試合を間近で感じながら試合運営のサポートにも取り組みました。

今回参加した人の中にはバスケットボール経験者が多く、「プロバスケットボールの試合の力になって嬉しい」との声が多かったです。その他にも、「観客が試合を楽しみにしている様子が伝わってきて、ファンに愛されているチームだと感じた」、「想像以上に試合やチャリダーのパフォーマンスが盛り上がっていたので、もっと多くの人に観に来てもらいたい」等の声もありました。プロバスケットボールが浸透するにはどうすればいいのか考えさせられました。

（学生コーディネーター：井上七海）

東京都多摩障害者スポーツセンター

障がい者スポーツ分野では、多摩障害者スポーツセンターで行われた「みんなで☆ポッチャ」に参加しました。障がいのある参加者と一緒にチームになり参加者の補助などを行いました。ポッチャが初めての方でも楽しみながら覚えられようようなポッチャのボールを使った簡単なゲームから試合までを行いました。同じチームと一緒に

ポッチャを楽しむことで、自然と障がいのある方とのコミュニケーションをとることができました。あまりボランティア経験のない学生も最初は緊張している様子でしたが、楽しく活動できたようです。

障がいの有無にかかわらず一緒に盛り上がり、それを通して距離が縮まるという障がい者スポーツのボランティアならではの良さを改めて感じました。
(学生コーディネーター：宇賀神美咲)

JUON (樹恩) NETWORK



今回参加したボランティア活動は学生が対象で、首都大からは4人参加し、全体で15人くらい参加者がいました。奥多摩のフィールドを歩いて、手入れをしているところとしていないところの森の明るさの差を見たり、木の芽が鹿に食べられないように対策をしている話を伺ったりしました。その後、のこぎりなどの道具の使い方を教えてもらい、実際に木材を切りました。ロープを使って木を運ぶ方法を教えてもらったのですが、縛り方が難しくみんな苦戦していました。実際に運んだ木の皮を剥がして作業は終了。一日で作業できることは限られているのだということを実感しました。森づくりの大切さと大変さを学べる貴重な機会だったと思います。

(学生コーディネーター：伊藤沙季)

介護予防クラブLOCO



高齢者分野として、介護予防クラブLOCOでの活動に参加しました。施設に着いてすぐ、近くの公園でのノルディックウォーキングに同行しました。このウォーキングでは、ポールを使って歩くことによって、より高い運動効果を得ることができます。おじいちゃんやおばあちゃんたちと一緒に歩きながら、大学では何を専攻しているのか、いつも何をしているのか等のお話をしました。秋の彩

りが豊かな公園で穏やかな日差しを浴びながら、他愛のない話をのんびりと興じ、徐々に心が温まるのを感じました。

施設に戻ると、今度は将棋の相手をしました。お相手の方は実力が拮抗しており、5勝4敗という結果に終わりました。将棋を元々していたので、とても楽しかったです。さらに、「ありがとう！また来てね！」と笑顔で言われた時には、とても嬉しかったです。

ボランティアという、なんだか高尚なイメージがついて回るかもしれませんが、自分の「楽しい」が巡り回って誰かのためになる身近なものだな、ということに改めて気づかされた一日でした。また行きたいです！
(学生コーディネーター：N)

スープの会



路上生活者支援の分野では、「スープの会」の活動に参加しました。14時から風まちサロンでお味噌汁作り、19時から路上訪問を行いました。風まちサロンでは、地域の方や元路上生活者の方と一緒にしゃべりながらお味噌汁を作りました。誰でも気軽にふらっと立ち寄って話ができる、そんな風まちサロンはお味噌汁のように温かい場所でした。路上訪問では、新宿駅周辺で暮らす路上生活者の方々にお味噌汁を配り、お話をしました。活動前は路上生活者の人に対してなんとなくネガティブなイメージをもって、上手くコミュニケーションをとることができないのではないかと不安でした。しかし、実際に話してみると普通の人たちだという印象をもちました。路上で生活しているということ以外是我々と同じであるのに、変に特別扱いをしていた。この活動を通してそれに気づくことができてよかったです。
(学生コーディネーター：石川陸矢)

事後学習

12月10日(日)、再び91年館多目的ホールに集まり、事後学習を行いました。それぞれの活動を振り返り、さらに深めることをねらいとした事後学習では、「ココロ(キモチ)」と「アタマ」の振り返り、そして事前学習で作成した「ボランティア宣言」の振り返りの3つを実施しました。

「ココロ」の振り返りでは、ボランティアとして初めて活動する中でのポジティブな感情、ネガティブな感情、人それぞれ感じたことをまずは自分自

身で振り返り、その後、グループで共有しました。同じようなことを感じていた人もいれば自分とは全く異なる視点の違い等から、新たな気づきがあったり、より活動の意義を深く理解するきっかけになったようでした。

「アタマ」の振り返りでは、自分が感じたボランティア活動の効果・意義について、同じ活動をしたメンバーで振り返りました。まずは、思いついた考えを思いついた分だけ付箋に書き、グループで共有します。その後、その考えを、①ボランティア自身 ②課題の当事者・活動の対象 ③活動する組織 ④地域・社会の4つに分類し、模造紙にまとめました。活動に関わる様々な人との出会いを通して、今まで気付かなかった社会の実態やそこでの課題を知ることができました。グループでまとめた考えは、全体で発表し合い、共有しました。

最後に行った「ボランティア宣言」の振り返りでは、活動を終えてからのその考え・思いの変化やこれからの自分の決意の発表を行いました。



グループで振り返りを行う様子



「ボランティア宣言」の振り返りと決意発表の様子



修了証を渡している様子

～「1dayボランティア2018」 活動先一覧～

主な活動分野	団体名
子ども	八王子市立愛宕小学校/日野市立みなみだいら児童館ぷらねっと
スポーツ	東京八王子ビートレインズ
障がい者スポーツ	東京都多摩障害者スポーツセンター
環境	JUON (樹恩) NETWORK
高齢者	介護予防クラブLOCO
路上生活者支援	スープの会